

平成 29 年度（第 6 期）

事業報告書

（自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日）

1. 事業概要
2. 助成事業
3. 電子書籍制作事業（助成受贈者の記録）
4. その他の事業

公益財団法人 韓昌祐・哲文化財団

## 1. 事業概要

公益財団法人 韓昌祐・哲文化財団は、平成 29 年 4 月 1 日に公益財団法人として 6 年目を迎え、本財団の公益目的事業である日本と韓国に関わる文化・芸術・歴史・社会・スポーツ等の分野における学術研究、創作活動、啓蒙活動、実践活動への助成、そのほか日本と韓国に関わる国際交流に対する助成を行なうことになっています。

平成 29 年 3 月 14 日（火）に開かれた平成 28 年度第 6 回理事会でご承認いただきました第 6 期事業計画案に基づいて、第 6 期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の助成事業を実施しました。

## 2. 助成事業

### (1) 平成 29 年度の応募状況と選考委員会

今年度も郵送による「郵便申請」の受付のほかに、本財団ホームページから直接申請できる「電子申請」を併用しました。

平成 29 年 7 月 1 日から助成申請書の募集を始め、9 月 30 日に締め切った結果、87 件の助成申請書を受け付けました。87 件のうち 4 件が申請上のミスで失格となりました。有効申請書 83 件のうち、選考委員会から承諾を得て事務局内の事前審査で 43 件を落とし、選考委員会の本番に向けて審査対象となったのは 40 件の申請書でした。

この後、選考委員 5 名が 40 件の申請書を約 1 カ月かけて精査し、10 月 31 日（火）開催の選考委員会に臨みました。当日、選考委員会は 10 時に開会し 18 時 30 分まで議論を続け、助成対象候補を 14 件まで絞り込みました。昨年度から面接を重視しており、1 名 1 時間の枠で 11 月 3 日（祝）に 7 名、11 月 4 日（日）に 2 名、11 月 9 日（火）に 1 名、11 月 21 日（火）に 4 名の面接を実施しました。

その結果、平成 29 年度選考委員会は、個人 6 件、団体 3 件を助成対象候補としました。

12 月 19 日（金）開催の第 2 回理事会の席上で、洪熒選考委員長から個人 6 件、団体 3 件の申請内容に関する報告がありました。ただ、理事会

の議論で1件の助成対象者は認められなかったため、助成対象者は個人5件、団体3件になりました。なお、平成29年度は選考委員会からも理事長からも、韓昌祐特別助成（上限500万円）の推薦は上がりませんでした。

この後、平成30年1月下旬に、個人1件から健康上の理由により、助成金の辞退が出たため、平成29年度の助成対象者は、個人4件、団体3件になりました。

## 平成29年度 選考委員会

金 時文 氏                   (株) 東洋経済日報社 編集局長

モンテ・カセム 氏       (学) 立命館総長特別補佐・立命館大学政策科学部教授  
立命館大学国際平和ミュージアム館長

洪 熒 氏                   (株) 統一日報社 論説主幹

辰巳 琢郎 氏               近畿大学文芸学部 客員教授・俳優

高柳 俊男 氏               法政大学国際文化学部教授

## 平成 29 年度 助成対象者一覧

分野	名前	研究活動テーマ・所属	助成金額
美術	Bae Sang-Sun (ハァンスン)	「リサーチプロジェクト『韓国・大田の日本人』」 2008 新世界 Gallery 優秀賞、画家	1,500,000 円
スポーツ	金 知秀 (キムチス)	「在日女子初の韓国代表として東京五輪でメダルを獲得」 2017 アジアジュニア選手権優勝柔道選手	1,440,000 円
出版	劉 庭秀 (ユジョンズ)	「静脈産業の在日韓国人の社会・経済・国際的役割の変遷」 東北大学大学院国際文化研究科教授	2,000,000 円
学術交流	齋藤邦明 (サイトウクニアキ)	「江原大学との日韓共通課題の薬物依存の解明と治療」 藤田保健衛生大学大学院教授、医学博士	2,000,000 円
映画	ドキュメンタリープロジェクト「母の鶏スープ」	「母の人生を追うドキュメンタリー映画製作」 代表 ドキュメンタリー映画監督 ヤン ヨンヒ	2,000,000 円
演劇	福岡・釜山交流ひろば	「日韓小劇場演劇の研究と表現技術の実践」 代表 九州大谷短期大学准教授 日下部 信	1,000,000 円
芸術	一般社団法人パフォーミング・アーツ・ラボラトリー	「パフォーミングアーツによる日韓文化交流」 代表 理事長 鈴木明	1,000,000 円
		個人 4 件・団体 3 件	総額 10,940,000 円

## (2) 公募の方法について

平成 29 年度の公募広告は 7 月上旬から 8 月中旬に、新聞媒体では統一日報、東洋経済日報、朝日新聞全国版に公募広告を掲載しました。

またネット・メディアでは、(株) ジェイ・キャストの Jcast ニュースに、公募広告をアップしたほか、平成 27 年度と平成 28 年度の助成事業をニュース記事として Jcast トレンドニュースに配信しました。

そのほかに、国公立大学、私立大学、日韓に関わる研究機関、諸団体などに公募のポスター 600 枚、財団パンフレット 1400 部を配布しました。

## 3. 財団誌制作事業（助成受贈者の記録）

### (1) 財団誌『青鶴』の刊行と廃刊

助成受贈者の成長の記録と助成金の使途に関する調査を目的に、平成 21 年度から財団誌『青鶴』を制作してきました。平成 21 年度から平成 24 年度の 4 年間は雑誌形式の財団誌を作り、平成 25 年度からは電子書籍形式に変換して、4 年間電子書籍『青鶴』を作ってきました。

財団運営上のコストダウンのために、8 年間続いた『青鶴』の制作を平成 29 年度から止めることになりました。したがって、平成 29 年度から事業費に財団誌の制作費は含まれていません。

## 4. その他の事業

### (1) 助成証書授与式

毎年3月に開催されてきた本財団の助成証書授与式は、日韓に関わる助成受贈者の発表の場であり、また駐日大韓民国大使館の大使をはじめ日韓親善協会中央会会長、在日本大韓民国民団中央本部団長および民団幹部、在日世界韓人商工人連合会会長および幹部の方々が出席される、日韓両国をつなぐ各界有識者の日韓交流の場になっています。

平成29年度の助成証書授与式は、平成30年3月5日（月）16時から東京都千代田区丸の内にある「東京国際フォーラム」D6、D7 会場にて開催されました。

### (2) 日韓交流レセプション

本財団の助成証書授与式、祝賀コンサートの後、恒例となった日韓交流レセプションが催されました。

この日韓交流レセプションには過去に助成を受けた（財）韓哲文化財団時代の助成受贈者のみなさん、また日韓に関わっている諸団体の会員も参加され、日韓をテーマに分野の垣根を越えて交流しました。

平成29年度の日韓レセプションは、平成30年3月5日（月）19時から東京都千代田区丸の内にある「東京国際フォーラム」D5 会場にて開催されました。

駐日大韓民国大使館から李洙勲（イ スン）大使にご列席を賜り、終始和やかな雰囲気のもと幕を閉じました。

## 平成 29 年度の事業報告附属明細書

1	給料手当	8,742,258 円
2	アルバイト給与	92,200 円
3	法定福利費	1,285,159 円
4	会議費	73,120 円
5	接待交際費	126,196 円
6	旅費交通費	680,932 円
7	通信運搬費	270,905 円
8	減価償却費	451,500 円
9	消耗品費	3,712 円
10	公募関係費	13,989,508 円
11	財団誌制作費	0 円
12	貸借料	324,000 円
13	諸謝金	1,481,231 円
14	図書費	13,608 円
15	助成金	10,939,467 円
16	雑費	90 円
17	研修費	1,6000 円
18	手数料	29,052 円
	事業費総額	38,518,938 円

## 事業報告附属明細書の内訳

- 1 給料手当（専務理事と職員の報酬全体の3分の2）
- 2 アルバイト給与（公募関係、助成証書授与式）
- 3 法定福利費（健康保険料、厚生年金保険料、子ども子育て拠出金）
- 4 会議費（選考委員会、助成証書授与式、財団ミーティング等）
- 5 接待交際費（理事会・評議員会）
- 6 旅費交通費（助成事業の調査と検証、選考委員会、助成対象者面接等）
- 7 通信運搬費（公募関係、広報宣伝、事務局等）
- 8 減価償却費（事務局）
- 9 消耗品費（事務局）
- 10 公募関係費
  - ・助成証書授与式（(有)劇団青年座、(有)ソラ、(株)東京国際フォーラム等）
  - ・広告費（朝日新聞社、(株)ジェイ・キャスト、(株)統一日報、(株)東洋経済日報、大石デザイン事務所）
- 11 財団誌制作
- 12 貸借料（(株)マルハン）
- 13 諸謝金（理事会、評議員会、選考委員会）

- 14 図書費（事務局）
- 15 助成金（一般助成）
- 16 雑費（事務局）
- 17 研修費（事務局）
- 18 手数料（横田公認会計士事務所・横田武久税理士、保険サービスシステム（株）、司法書士落合幸造事務所、原後綜合法律事務所・高英毅弁護士）